初

**心の平和、世界の平和**

**仕合わせの**



**真成寺**ホームページ

編集・発行

玉蓮山　真　成　寺

編　集　部　谷川久仁子

TEL・FAX　**0765-22-2268**

携　帯　　**080-3744-2523**

こちらの番号でも

お寺につながります。

第２６１号

　令和５年１２．１

　　（毎月１日発行）

住職　谷川寛俊

　今世界は、資本主義社会と共産主義社会の二極対立の様相です。

　共産主義社会は主に北朝鮮、ロシア、中国。そして資本主義社会は主に、西洋資本主義自由社会です。この二極が権力を争っていると言われています。

しかしながらロシアのウクライナへの侵攻は、プーチン大統領の独自の歴史観による領土への妄想によるものであり、また独裁者としての功績を残す為のものでもあるようにも思われます。この戦争はウクライナ人の為にも、ロシア人の為にもならない戦争であり、世界中の人々にもエネルギーや食糧の不足などをもたらし、大きな迷惑をかけています。プーチン大統領自身にとっても戦争の苦戦は、立場を危うくし、苦しみと

なっているようです。又側近のプリゴジンの反乱迄引き起こしました。

又、中国の習近平主席も台湾を力によって統一し、自分の功績を歴史に残したいような野望も見え隠れしています。

そして両者に共通していることは、本当の意味で自国民を含めた人々の平和と繁栄と幸福を考えていないということではないかと思います。民主主義社会も一部の富裕層が幸せであって、貧困層や有色人種は苦しんでいるのが現実です。大きな意味で、人種の平等を図り貧富の格差を是正し、皆お互いに仲良くすることが大切であります。

そのような平和で豊かな世界を実現する為に日蓮聖人は次の有名なお言葉を残されました。

『汝（なんじ）早く信仰の寸心（すんしん）を改めて、速（すみ）やかに実乗の一善に帰（き）せよ。しかればすなわち三界（全世界）は皆（みな）仏国なり。仏国それ衰（おとれ）えんや。十方は悉（ことごと）

く宝土（ほうど）なり。宝土何（なん）ぞ破（やぶ）れんや。国に衰微（すいび）なく、土は破壊（はえ）なくんば、身はこれ安全にして、心はこれ禅定ならん。この詞（ことば）、この言（ことば）、信ずべく崇（あが）むべし。』（立正安国論）

　すなわち現代の言葉にすると『一刻も早く、間違った考えを捨てて、真実の教えである法華経に帰依（きえ）しなさい。そうすれば、この世界はそのまま平和な仏の国となります。仏の国は決して衰えることはありません。世界がそのまま浄土となります。浄土は決して破壊されることはありません。国が衰えることなく、世界が破壊されなければ、我が身は安全であり、心は平和でありましょう。この言葉は真実であります。信じなければなりません。崇（あが）めなければなりません』

との大切なお言葉であります。

　つまり戦争や自分、そして社会

の不幸は、誤った考えに基づいた

不調和な心と、妄想と行為による

ものであると思います。

ロシア、ウクライナは人道的に一

時休戦状態（十一月二十四日現在）にあるようですが、一日も早い平

和な世界が来るよう皆様と一緒にお祈りいたしましょう。

良い年をお迎えくださいませ。

